

付	表
---	---

177. 岩槻市主要年表 .....	195
178. 市内公共施設等 .....	202

## 177. 岩槻市主要年表

西 暦	年 号	事 項
約1万5千年前		石器だけで生活する人々の痕跡が残る。
約5千年前		市内各地に貝塚が形成される。
約4千年前		真福寺貝塚が形成される。
400～800年頃		市内各地に多くの集落が営まれる。
1000年頃		武士団が現れる。岩槻周辺では渋江氏、柏崎氏等がいた。(武蔵七党のうち与野党の一族)
1243	寛元元	笹久保の善念寺に、この紀年銘の阿弥陀一尊板碑がある。
1333	元弘3	後醍醐天皇は、綸旨を下し法華寺の寺領を安堵する。
1335	建武2	足利尊氏は、武蔵国太田・渋江両郷に関し、国宣を下す。
1361	正平16	市場の祭文が作られる。
1375	天授元	石室善玖は、渋江郷金重村に平林寺を開く。
1455	康正元	太田資清は、家督を資長(道灌)に譲る。
1457	長禄元	上杉持朝が川越城を築き、持朝の将太田備中守資長が岩付(槻)城を築くと伝えられる。
1530	享禄3	太田資頼(道灌の孫)は、城代渋江三郎を破って岩付(槻)城を回復する。
1560	永禄3	勝田佐渡守は、北條氏房に市を願い出て免許を与えられる。
1570	永禄13	北条氏政は、石工の左衛門五郎を武蔵に遣わし岩付(槻)城等の修築の石を採石させる。
1590	天正18	豊臣方の浅野長吉、木村秀直の軍が、岩付(槻)城を攻略する。
1614	慶長19	元荒川筋に末田溜井・瓦曾根溜井が開発される。
1617	元和3	4月12日、関東は、連日暴風雨となり栗橋の渡が流失し、日光社参中の将軍徳川秀忠は13日まで岩槻城に滞留する。
1633	寛永10	慈恩寺が焼失したため川越の喜多院は本尊として千手観音像を寄進する。
1663	寛文3	松平輝綱は、平林寺を新座郡野火留(新座市)に移す。
1680	延宝8	綾瀬川の河岸場筋の用水堰が一切禁止されて、船の便がよくなり、馬込河岸場が出来る。 小菅村から隅田村までの新綾瀬川の開通により、綾瀬川は排水河川となる。
1681	天和元	この頃から綾瀬川の藻刈りがはじまる。
1693	元禄6	岩槻城三の丸の屋形の地祭が行われる。
1700	元禄13	元荒川の藻刈りがはじまる。
1709	宝永6	市宿町に火災あり。

西 暦	年 号	事 項
1741	寛保元	足立、埼玉二郡にわたる東武蔵薬師霊場120ヶ所が組織される。
1766	明和3	助郷人馬制が布かれる。岩槻宿助郷村は、飯塚村・真福寺村・下新井村・柏崎村・浮谷村・横根村・笹久保新田・笹久保村・黒谷村である。
1774	安永3	岩槻宿の戸数 816軒・人数3,666人（男1,911人・女1,755人）である。
1776	安永5	各町の大きさは、市宿町長さ五丁十二間・久保宿町長さ五丁三十間・渋江町長さ四丁九間・田中町長さ二丁十二間であった。
1786	天明6	五月頃より雨が多く、関東で大洪水、利根川の堤防を押切り、栗橋・岩槻・草加等に被害が多く、江戸における寛保2年の大水を上回る惨状を呈す。
1787	天明7	岩槻宿で米価騰貴による打ちこわしが起こる。
1799	寛政11	児玉南柯は、岩槻城主大岡忠正の援助で岩槻城下裏小路の一角に遷喬館を開く。
1804	文化元	児玉南柯が「漂客記事」を著わす。
1828	文政11	慈恩寺本堂が焼失する。
1830	文政13	岩槻藩校（遷喬館）教授児玉南柯が卒す。
1836	天保7	岩槻宿で米価騰貴による打ちこわしが起こる。
1847	弘化4	この年の岩槻宿の家数は 818軒・人数3,586人（男1,826人・女1,760人）である。
1856	安政3	大風にて黒谷村では居宅など34～5軒がこわれる。
1858	安政5	八月上旬から江戸で疫病が流行し、黒谷村で、大般若祈祷を行う。
1859	安政6	大風雨にて備前堤が切れ綾瀬川一円に出水する。
1862	文久2	東海道筋より疫病が流行し、江戸中に広まり黒谷村付近にも流行し、大般若祈祷を行う。
1868	明治元	明治と改元される。
1869	明治2	武蔵知県事が廃止される。 大宮県が設置される。
1870	明治3	岩槻藩庁の掌政・民政街官・会計・軍務・營繕・典学の六部局が置かれる。
1871	明治4	区制が実施され、岩槻は、5区・20区に編入される。 忍県・岩槻県・浦和県を廃止し、武蔵国埼玉郡及び葛飾・足立二郡を以て埼玉県を設置する。 岩槻県の廃止により、遷喬館は廃校となる。

西 暦	年 号	事 項
1871	明 治 4	<p>県庁の位置を岩槻町と定めたが、同所は施政に不便で適当な庁舎がなかったため仮に旧浦和県廳庁舎を利用すべく大蔵省の認可を受ける。</p> <p>岩槻城が廃毀される。</p>
1872	明 治 5	<p>岩槻の郷学校が開設される。</p>
1873	明 治 6	<p>宝国寺に鹿室学校を設置する。生徒男67人、女3人、教員3人である。</p> <p>尾ヶ崎新田に公立小学校（尾ヶ崎学校）を設置し、正福寺を使用する。生徒男97人、女9人である。</p> <p>岩槻郷学校は、市宿の芳林寺に移転し、岩槻学校と改称される。生徒男122人、女54人、教員は男3人、女2人である。</p> <p>川通村の寺院に大戸学校を設置する。生徒男55人、女3人、教員2人である。</p> <p>高曽根村に、公立小学校（高曽根学校）を設置する。生徒男101人、女13人、教員男2人、女1人である。</p> <p>柏崎村に、公立小学校（柏崎学校）を設置し、洞照院を仮用する。生徒男71人、女9人、教員男2人、女1人である。</p> <p>郵便・電信電話局舎が建築される。</p> <p>岩槻町辻村間の土橋が板橋に改築される。</p> <p>埼玉郡岩槻町九町の小名（市宿町・久保宿町・新町・富士宿町・林道町・田中町・横町・新曲輪町・渋江町）を廃止し、岩槻町と総称する。</p> <p>岩槻町字久保宿 178番より出火、29軒延焼する。</p>
1874	明 治 7	<p>岩槻町で第20区警察附属屯所が新築される。</p>
1875	明 治 8	<p>第20区埼玉郡岩槻市宿町・久保宿町・新町・林道町・富士宿町・横町・田中町・新曲輪町・渋江町・春山新田・斎藤新田を合併し、岩槻町とする。</p> <p>第5区黒沼九人組新田を鹿室に、藤内新田を相野原村に、黒沼藤助新田を裏慈恩寺村に合併する。</p>
1876	明 治 9	<p>綾瀬川の新河岸場できる。</p>
1889	明 治 22	<p>大口・南平野・長宮・大野島・増長・大谷・大戸・新方須賀・大森の九村が合併し、川通村となる。</p> <p>掛・金重・本宿・箕輪・平林寺・馬込・川島村が合併し、河合村となる。</p> <p>表慈恩寺・慈恩寺・裏慈恩寺・鹿室・相野原・古ヶ場・上野・南辻・小溝・徳力村が合併し、慈恩寺村となる。</p>

西 暦	年 号	事 項
1889	明治22	尾ヶ崎新田・尾ヶ崎・釣上・釣上新田・野島方・孫十郎・高曾根・末田村が合併し、新和村となる。 飯塚・笹久保・黒谷・笹久保新田・木曾良・村国・南下新井村が合併し、和土村となる。 柏崎・横根・谷下・浮谷・真福寺村が合併し、柏崎村となる。 岩槻・太田両町が合併し、岩槻町となる。
1891	明治24	大宮・岩槻間に乗合馬車が開通する。
1892	明治25	岩槻町の人口は5,952人（男2,947人・女3,005人）戸数1,075戸である。
1893	明治26	岩槻町の人口は5,938人（男2,940人・女2,998人）戸数1,080戸である。
1909	明治42	岩槻町の東武紡績合資会社でストライキが起こる。
1910	明治43	岩槻町有楽座が新築される。
1911	明治44	岩槻電気軌道（株）が設立される。
1912	明治45	御林山南端より出火、山火事となる。
1914	大正3	岩槻にはじめて電灯が灯る。
1918	大正7	河合村に大雷雨の被害がある。
1920	大正9	岩槻・幸手線、岩槻・野田線等が県道に認可される。
1921	大正10	大宮・岩槻間乗合バスが開通する。
1924	大正13	武州鉄道岩槻・蓮田間の開通式が挙行される。
1925	大正14	武州鉄道岩槻北口駅が開設される。
1926	大正15	岩槻人形界は不景気となる。
1927	昭和2	日米両国は人形を交換し、岩槻小学校で人形交換会が開かれる。岩槻人形が初めてアメリカへ渡る。岩槻に輸出人形研究会が発足する。
1928	昭和3	武州鉄道岩槻・武州大門間が延長開業する。
1929	昭和4	北総鉄道（現在の東武野田線）の大宮仮停留所粕壁間が開通し、岩槻町駅が営業開始する。
1931	昭和6	9月、埼玉県中心に地震発生、岩槻では民家12軒が全半壊する。
1939	昭和14	6月、武州鉄道の廃止に伴い、総武鉄道岩槻町駅が岩槻駅と改称される。
1943	昭和18	2月、新和村大字区域並びに大字名のうち野島方・孫十郎が野孫に変更される。
1944	昭和19	3月、総武鉄道大宮・船橋間が東武鉄道に合併され、東武野田線となる。
1945	昭和20	総武鉄道渋谷駅、加倉駅は営業を休止する。

西 暦	年 号	事 項
1949	昭和24	岩槻・和土・柏崎中学校を廃止し、岩槻町2村組合立岩槻中学校と改称する。
1954	昭和29	<p>県町村合併促進審議会で、岩槻町・河合村・和土村・慈恩寺村・柏崎村・川通村・新和村の合併が計画される。</p> <p>7月1日岩槻町は市制を施行する。初代市長に平野廣が就任する。助役に尾島清・利根川清、収入役に坂爪海要が、議長に斎藤定吉が、副議長に伊藤満寿巳が就任する。</p> <p>岩槻・新和・慈恩寺の三か所に診療所を新設し、新和・慈恩寺地区の無医村が解消される。</p>
1955	昭和30	<p>世帯数は6,119、人口は35,141人、男17,316人、女17,825人である。</p> <p>市制施行一周年記念祝賀会式典が開かれる。</p> <p>岩槻市自治会が結成される。</p>
1957	昭和32	<p>1月、岩槻市は文化財遷喬館の復元に着手し、同年3月に完成する。</p> <p>太田道灌岩槻築城500年、市制施行3周年、遷喬館復元の合同記念祭が開かれる。</p>
1960	昭和35	<p>岩槻市立新和中学校を城南中学校と改称する。</p> <p>上水道工事クワ入れ式が行われる。</p> <p>お林公園（岩槻公園）総合グラウンド兼野球場建設の起工式が行われる。</p>
1961	昭和36	水道給水条例を可決、家庭用基本料金1m <sup>3</sup> あたり310円となる。
1962	昭和37	岩槻公園に菖蒲池が完成する。
1963	昭和38	県立青年の家が岩槻公園内に完成する。
1964	昭和39	<p>岩槻局の電話がダイヤル式に切り替わる。</p> <p>皇太子殿下・美智子妃殿下が来訪し、岩槻人形の製作工程を視察される。</p>
1966	昭和41	<p>市営球場が完成する。</p> <p>台風四号が直撃し、雨量294ミリを記録し、市内各所で冠水・浸水の被害を受ける。</p> <p>岩槻市における字の変更並びに町の設置が告示される。</p> <p>学校給食センターの工事が着工される。</p>
1967	昭和42	東北縦貫道路の県内通過路線と岩槻I・Cの設置を発表する。
1969	昭和44	<p>総人口が5万人を超える。</p> <p>地下鉄7号線誘致期成同盟会が発足する。</p>

西 暦	年 号	事 項
1969	昭和44	東武野田線、東岩槻駅が開業する。
1970	昭和45	市役所本庁舎新築のため、消防署前の仮庁舎に移転する。 旧岩槻城の城門が市役所庁舎新築に伴い岩槻公園内に移築される。
1971	昭和46	『浄国寺日鑑』77冊が埼玉県指定有形文化財となる。 岩槻市役所新庁舎が完成する。 中央図書館が開館する。
1972	昭和47	総人口が7万人を超える。 東北自動車道の岩槻・宇都宮間が開通する。
1975	昭和50	移動図書館、こだま号が巡回を開始する。 真福寺貝塚が国指定史跡に指定される。
1976	昭和51	第1回人形の町岩槻まつりが開催される。
1977	昭和52	市民公募で市の木「つき」、市の花「やまぶき」を選定する。
1978	昭和53	福祉会館で市制25周年記念式典が行われる。
1979	昭和54	岩槻公園野球場にナイター設備が完成する。
1980	昭和55	東北自動車道の浦和・岩槻間が開通する。 県立民俗文化センターが開所する。
1981	昭和56	福祉法制定30周年記念大会を開催する。 千倉町と友好都市の調印をする。
1982	昭和57	児童センターが開館する。 山吹作業所が開所する。
1982	昭和58	西ドイツスポーツ少年団岩槻市を親善訪問する。 県立小児医療センターが開所する。
1984	昭和59	事務処理がオンライン化する。
1985	昭和60	総人口が10万人を超える。 岩槻市行政改革大綱を策定する。 環境センターの建設が着工される。
1986	昭和61	コミュニティセンターいわつきが開館する。 岩槻市第二次総合新興計画基本構想決定する。
1987	昭和62	消防北分署が開署する。 江川・南平野の両地区に土地区画整理連絡協議会が発足する。 南部公民館が開館する。

西 暦	年 号	事 項
1987	昭和62	県立岩槻青年の家を改修し、生涯学習センターが開所する。
1988	昭和63	老人福祉センター「槻寿苑」が開所する。
1989	平成元	中央公民館が開所する。
1990	平成2	市民温水プールが開所する。
1991	平成3	通所更生施設「太陽の家」が開所する。 市民温水プール利用者が10万人を超える。 北部公民館が開所する。 生涯スポーツ都市宣言をする。
1992	平成4	城北大橋が開通する。 新永代橋が開通する。
1993	平成5	槻の森スポーツセンター利用者が100万人を超える。 消防署南分署が完成する。
1994	平成6	岩槻駅東口再開発事業の工事が着工される。 市制施行40周年を迎える。 目白大学が開学する。
1995	平成7	平和都市宣言をする。 東武鉄道岩槻駅－春日部駅間の複線化が決定する。
1996	平成8	岩槻駅東口再開発ビルの愛称が「WATSU（ワッツ）」に決定する。 岩槻駅東口再開発ビル「WATSU」オープン。 岩槻駅東口コミュニティセンター・駅東口図書館が開館する。 カナダのナナイモ市（ブリティッシュコロンビア州）と国際友好都市の提携をする。
1997	平成9	知的障害者更生施設「槻の木」が開所する。
1998	平成10	ふれあいプラザが開館する。
2000	平成12	リサイクルプラザがオープン。
2003	平成15	やまぶきスタジアム（川通公園野球場）が完成する。 ワッツコミュニティーセンターがリニューアルオープンする。
2004	平成16	市制施行50周年を迎える。 彩の国まごころ国体秋季大会が開催される。
2005	平成17	閉市式を開催する。



## 178. 市内公共施設等

●市役所・出先機関等		
市役所	本町六丁目1-1	(757) 4111
東岩槻市民サービスコーナー	東岩槻六丁目6	(757) 3531
和土市民サービスコーナー	笹久保1348-1	(798) 7620
岩槻駅東口市民サービスコーナー	本町三丁目1-1	(758) 2900
慈恩寺市民サービスコーナー	慈恩寺904-1	(795) 1881
江川土地区画整理事務所	南辻124-3	(756) 8780
岩槻駅西口土地区画整理事務所	西町一丁目1-1	(756) 8188
●教育・文化・福祉施設等		
中央公民館	本丸三丁目17-1	(758) 3100
岩槻公民館	本町四丁目2-25	(757) 6043
南部公民館	笹久保1348-1	(798) 7620
北部公民館	慈恩寺904-1	(795) 1881
コミュニティセンターいわつき	本町一丁目10-7	(758) 1980
岩槻駅東口コミュニティセンター	本町三丁目1-1	(758) 6500
ふれあいプラザ	東岩槻六丁目6	(756) 6000
中央図書館	本町四丁目2-25	(757) 2523
岩槻駅東口図書館	本町三丁目1-1	(758) 3200
東部図書館	東岩槻六丁目6	(756) 6665
郷土資料館	本町二丁目2-34	(757) 0271
生涯学習センター	太田三丁目4-1	(756) 7855
学校給食センター	平林寺373-2	(757) 5359
県立民俗文化センター	加倉五丁目12-1	(757) 8008
保健センター	府内一丁目8-1	(798) 2211
児童センター	本町一丁目11-11	(757) 4545
老人福祉センター「槻寿苑」	笹久保1393	(798) 8088
城址公園イグレッタ	太田三丁目1-1	(756) 5151
槻の森スポーツセンター	村国229	(798) 8411
市民温水プール	本丸三丁目17-2	(758) 2301
授産施設第1やまぶき	古ヶ場二丁目1-11	(794) 5005
授産施設第2やまぶき	黒谷1282-1	(797) 0772
知的障害者更生施設槻の木	黒谷1135-2	(797) 0850
岩槻市社会福祉協議会	本町六丁目5-10	(757) 9291
シルバー人材センター	仲町一丁目14-54	(756) 7790
西保育所	西町二丁目2-18	(756) 4632
南保育所	本町二丁目5-5	(756) 7565
東保育所	諏訪二丁目5-1	(794) 1620
美幸保育所	美幸町3-18	(757) 8450
●警察・消防・衛生関係施設		
岩槻警察署	岩槻5106	(757) 0110
消防本部消防署	城南一丁目2-3	(797) 0119
中央分署	太田一丁目2-11	(757) 2727
北分署	上野四丁目6-21	(794) 4816
南分署	笹久保1328	(798) 3802
環境センター	笹久保1339	(798) 7500
リサイクルプラザ	笹久保1339	(798) 7500
加倉浄水場	加倉1065	(756) 0567

金重浄水場	金重52-18	(756) 4865
南下新井浄水場	南下新井907-8	(798) 2637
相野原浄水場	相野原267-1	(793) 1884
<b>●小 学 校 ・ 中 学 校</b>		
岩槻小學校	本町五丁目6-45	(756) 3341
太田小學校	仲町一丁目17-3	(756) 0515
川通小學校	大野島422-1	(799) 1060
柏崎小學校	柏崎762	(798) 3831
和土小學校	黒谷1353	(798) 0208
新慈恩寺小學校	尾ヶ崎1252	(798) 0003
慈恩寺小學校	慈恩寺259	(794) 1140
河合岩槻小學校	平林寺351	(756) 2243
東城北小學校	諏訪二丁目6-1	(794) 1584
徳力小學校	岩槻6619	(757) 5391
上里小學校	徳力136-4	(794) 2318
西原小學校	上里2-2	(794) 2316
城南小學校	西原6-25	(757) 2271
岩槻通南中學校	南下新井1191-1	(798) 4811
川通南中學校	仲町一丁目14-35	(756) 0254
慈恩寺中學校	長宮435	(799) 1061
城北山陽中學校	笹久保577	(798) 0007
桜陽中學校	裏慈恩寺505	(794) 1141
柏原中學校	本宿392-1	(757) 1582
私立開智中學校	表慈恩寺684-1	(794) 4061
	真福寺454	(798) 6655
	岩槻3750	(756) 1117
	徳力186	(795) 0777
<b>●高 校 ・ 大 学 ・ 養 護 学 校 等</b>		
県立岩槻商業高等学校	太田一丁目4-1	(756) 0100
県立岩槻高等学校	城南一丁目3-38	(798) 7171
県立岩槻北陵高等学校	慈恩寺117-2	(794) 6060
私立開智高等学校	徳力186	(794) 4321
東武医学技術専門学校	飯塚50	(798) 8123
早稲田医療技術専門学校	太田354-3	(758) 7111
目白大学	浮谷334-3	(797) 2111
県立岩槻養護学校	馬込2426	(757) 5501
県立養護施設いわつき	徳力206	(794) 4531
<b>●そ の 他 の 機 関</b>		
岩槻市高齢者職業相談室	本町三丁目1-1	(758) 0150
内職相談室	本町三丁目1-1	(758) 0150
岩槻市商工会議所	本町五丁目6-44	(756) 1445
中川水系農業水利事務所	本町二丁目8-12	(756) 1147
岩槻郵便局	加倉四丁目10-1	(756) 4462
法務局岩槻出張所	東岩槻四丁目3-3	(756) 0458
県立小児医療センター	馬込2100	(758) 1811
埼玉食糧事務所岩槻支所	本町一丁目8-21	(757) 8700